

中日貿易

— WTO加盟後中国の問題 —

Trade between China and Japan

— on the Subject of China after The Participation in WTO —

神奈川大学大学院 経営学研究科
国際経営専攻 博士前期課程

廖 照 青

要 旨

本論文は日中貿易——WTO加盟後中国の問題中心とするものである。第一章は中国の対外貿易戦略・政策について論じている。なかには中国の政治・経済戦略状況を説明している。中国政府の外資系企業誘致政策について説明し、中国対外貿易政策の発展の目的と現状を論じている。中国の対外貿易と日本の経済協力について、その重要性和中国経済の役割を論じている。第二章は中国のWTO加盟と社会主義市場経済政策について、中国WTO加盟のあゆみからを視点とする中国経済の発展、中国の経済・技術の貿易戦略政策の形成と目的、技術の貿易戦略の重要性について論じている。中国の工業化発展と日本の役割について、中国現代経済発展のなかで、絶大な存在を論じ、中日間経済関連を強く強調している。第三章は中国対外経済・貿易の問題を提起していると同時に、解決策も検討している。日中貿易問題の形態と変化については、日中間貿易問題点と解決策を論じている。中国対日本の貿易順差問題の原因と回避策を論じている。中国の国内民族企業保護問題について、中国の貿易策を強く批判している。それに対する解決策も論じている。中国の貿易保護と日中貿易摩擦について、その起因と中日間利益損害について論じている。第四章は中国WTO加盟後の貿易を課題としている。中国の港湾問題と海上運輸の改善問題、知的所有権と技術移転の問題、国営企業による輸出入の独占・均衡問題、ローカル・コンテンツの問題について、中日間に存在している貿易問題を具体的に分析して、改善策も検討している。第五章は日本の中国WTO加盟についての対応を論じている。具体的に日本の産業空洞化の対応策について、例をあげて議論し

ている。その次に、対中投資の拡大と市場寡占について、日・中間貿易未来像を論じている。日中間の貿易経済共存は新世紀にとって重要な課題であることを論じている。

本論文の目的はWTO加盟後中国についての貿易問題解決、改善としている。